

## さいたま市国民健康保険（国保）人間ドック検査項目について

※特定健診と共通の項目については、「のびのび健診（特定健診）検査項目について」をご参照ください。

検査区分	検査項目	検査内容等について
血液一般検査	血液像	感染症や悪性腫瘍の診断に役立つ。
	赤血球沈降速度	感染症や、様々な疾患の状態を把握するのに役立つ。
肝機能検査	T-Bil	ビリルビンはヘモグロビンから作られる色素で、胆汁の成分になっている。
	D-Bil	
	LDH	臓器・組織の損傷があると数値が上昇する。
	ALP	肝臓、骨、腸、腎臓など多くの臓器に含まれている酵素で、臓器に障害があると血液中に流れ出る。
	LAP	たんぱく質を分解する酵素。肝炎、肝硬変、肝がん、閉塞性黄疸で高値となる。
	総たんぱく(TP)	血清中のたんぱく質の総量。慢性肝炎や肝硬変などで高値、栄養不良や重い肝臓病で低値となる。
	アルブミン	肝臓で合成される。肝臓障害、栄養不足、ネフローゼ症候群などで減少する。
	CPK	筋肉のなかにある酵素。異常がある場合は、心筋梗塞などが疑われる。
	尿ウロビリノーゲン	ビリルビンが変化したもの。ビリルビンの生成亢進、便秘などでも尿中に出てくる。
膵(すい)機能検査	血清アミラーゼ	糖質を分解して糖にする酵素。膵臓、唾液腺の細胞の異常で高値となる。
脂質代謝検査	総コレステロール	血液中の重要な脂肪。高脂血症、糖尿病などで高値、肝臓の異常で低値となる。
腎機能検査	尿素窒素	蛋白質が利用された後にできる残りかす。通常は腎臓でろ過されて尿中へ排出される。
	尿潜血	陽性の場合には腎臓病や尿路系の炎症が疑われる。
	尿沈渣	尿を遠心分離機にかけ、沈澱した赤血球や白血球、尿酸結晶、細胞、細菌などの固形成分量や種類を調べる。
糖代謝	尿ケトン体	脂質が肝臓で代謝されるときにできる。栄養を充分に取れていない時に尿中に出る。
血清学的検査	梅毒沈降反応(RPR法)	梅毒の感染を調べる検査。
	TPHA	
	CRP	体内に炎症が起きたり、組織の一部が壊れたりした場合に現れる、血液中の蛋白質の一種。
	RF	通常の血液中には存在しないリウマチ因子の有無を調べる検査。
呼吸器検査	胸部レントゲン(直接)	肺炎、肺結核、肺がん、肺気腫、胸水、気胸など、呼吸器の疾患の有無、その程度がわかる。
消化器検査	食道・胃・十二指腸直接撮影(又は内視鏡検査)	胃、十二指腸のポリープ、潰瘍(かいよう)やがんなどが発見できる。
	腹部超音波	肝臓、すい臓、腎臓に腫瘍があるか、胆のうには胆石などがあるかを調べる。
	便潜血反応(ヒトヘモグロビン・2日法)	陽性の場合には大腸ポリープ、大腸がん、痔などが考えられる。
眼科的検査	視力検査	眼の病気がないのに裸眼視力が0.7未満の場合は近視や乱視が考えられる。

のびのび健診（特定健診）とさいたま市国民健康保険（国保）人間ドックの検査項目比較表

検査区分	特定健診	人間ドック
身体計測	身長、体重、腹囲、BMI	身長、体重、腹囲、BMI
理学的所見	視診、触診、打聴診	視診、触診、打聴診
血圧検査	血圧	血圧
血液一般検査	赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値、MCV、MCH、MCHC、白血球数、血小板数	赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値、MCV、MCH、MCHC、白血球数、血小板数、血液像、赤血球沈降速度
肝機能検査	AST(GOT)、ALT(GTP)、 $\gamma$ -GT( $\gamma$ -GTP)	AST(GOT)、ALT(GTP)、 $\gamma$ -GT( $\gamma$ -GTP)、T-Bil、D-Bil、LDH、ALP、LAP、総たんぱく(TP)、アルブミン、CPK、尿ウロビリノーゲン
膵(すい)機能検査		血清アミラーゼ
脂質代謝検査	中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール	中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール、総コレステロール
腎機能検査	尿たんぱく、クレアチニン、尿酸、eGFR	尿たんぱく、クレアチニン、尿酸、eGFR、尿素窒素、尿潜血、尿沈渣
糖代謝	空腹時血糖、ヘモグロビンA1c、尿糖	空腹時血糖、ヘモグロビンA1c、尿糖、尿ケトン体
血清学的検査		梅毒沈降反応(RPR法)、TPHA、CRP、RF
呼吸器検査		胸部レントゲン(直接)
循環器検査	心電図	心電図
消化器検査		食道・胃・十二指腸直接撮影(又は内視鏡検査)、腹部超音波、便潜血反応(ヒトヘモグロビン・2日法)
眼科的検査	眼底検査(対象となる方のみ)	眼底検査(実施しない場合もあり)、視力検査